

週間漁海況情報—第10号

平成23年3月7日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

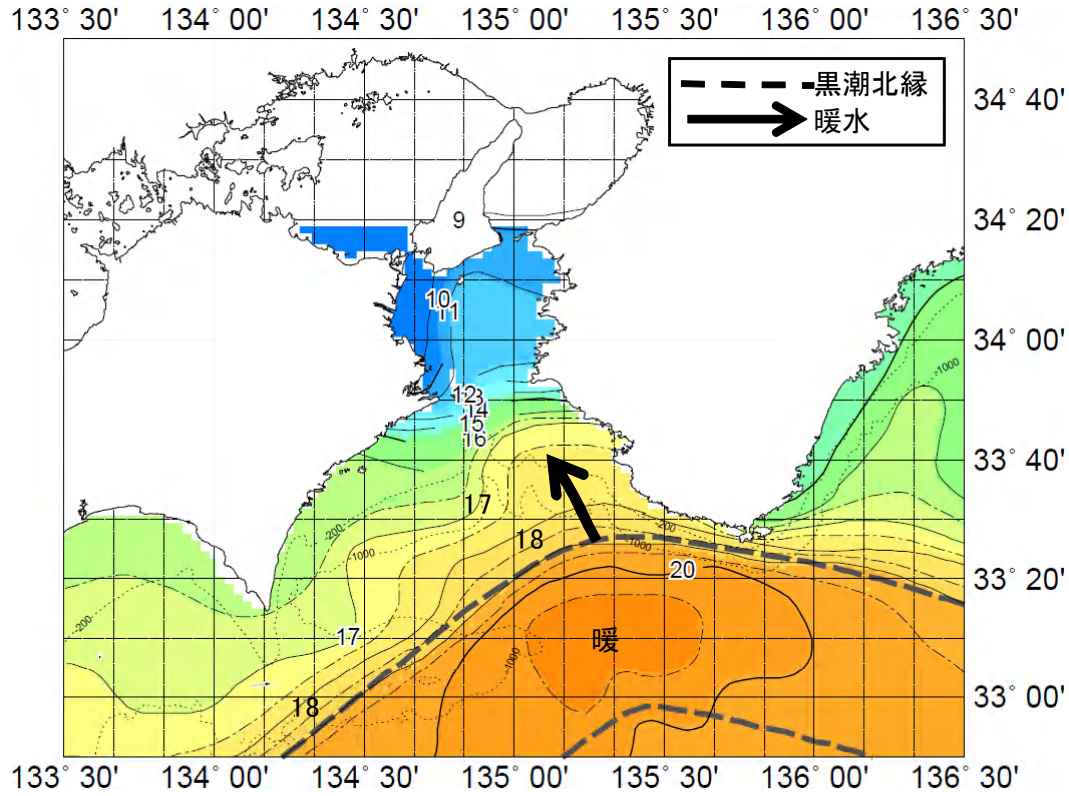
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.3.7)を示した。

黒潮は、室戸岬で小蛇行の影響からやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、18～20℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8℃台、紀伊水道で8～12℃台、海

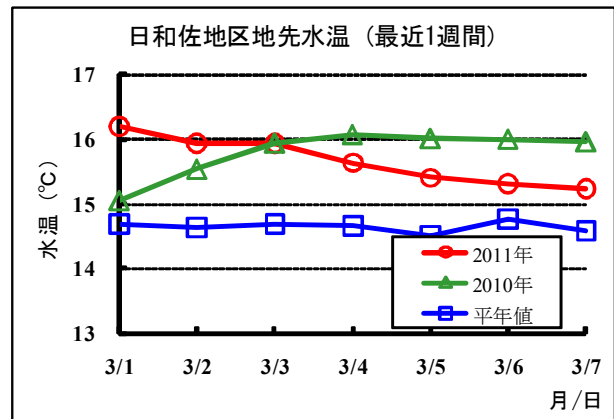
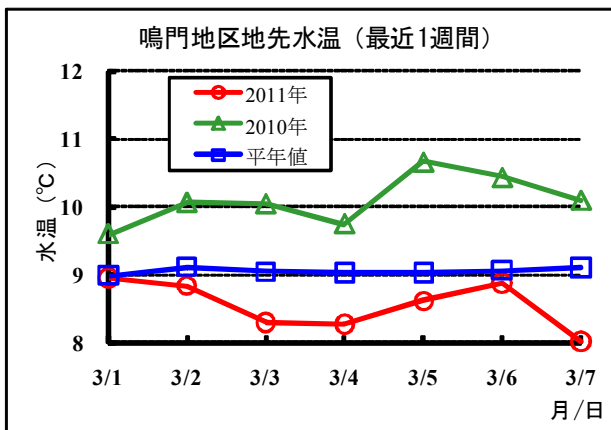


部沿岸で13～16℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県に沿って暖水流入がある。海部沿岸では下り潮になっている。

内海系水と黒潮系暖水との潮境は蒲生田岬から和歌山県日ノ御碕やや南にかけて確認できる。

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の8.0～9.0℃、日和佐地区で「やや高め」～「高め」の15.2～16.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の15.1～17.1℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にトラフグが0.2トン（1日1隻当たり15kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、ヒラメが0.2トン（同5kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが2.0トン（同77kg）、キビナゴが0.9トン（同30kg）、マイワシが0.7トン（同57kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン（同112kg）、ブリが2.4トン（同394kg）、メジロが0.4トン（同61kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン（同8kg）、ハマチが0.2トン（同10kg）、小主体にマサバが0.3トン（同18kg）、メジロが0.3トン（同11kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、イカナゴが45.2トン（同323kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 02月28日～03月06日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	トラフグ	14	208	15	大主体	
建網		ヒラメ	51	238	5		
小型定置網		アオリイカ	26	2,001	77		
		キビナゴ	29	881	30		
		マイワシ	12	684	57		
大型定置網		アオリイカ	6	669	112	大主体	
		ブリ	6	2,365	394		
		メジロ	6	368	61		
釣り		アオリイカ	80	668	8	大主体	
		ハマチ	21	220	10		
		マサバ	17	302	18	小主体	
		メジロ	29	329	11		
パッチ網		紀伊水道	イカナゴ	140	45,225	323	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖を小蛇行が東進する見込みのため「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先は「平年並み」の15℃台で推移する見込み。

他県情報：宮崎県（2月24日～3月2日）のパッチ網でシラス11.4トン（1日1隻・統当たり1.4トン）、大型定置網でブリ16.4トン（同2.7トン）が水揚げされた。